

新富町教育振興基本計画（令和6年度～令和8年度概要版）

1 教育目標

教育目標	
多様性を認め合い、創造する、自律した子どもの育成	
■地球・社会環境の変化 ■超スマート社会（Society5.0） ■人生100年時代 ■少子高齢化	
①	自ら考え、計画し、行動する自律の力 （*自分で考え、判断し、計画して、実行する力）
②	文章や情報を読み解き、対話を通して最適解や納得解を導き出す力 （*ICTを活用しながら、情報を収集・理解・選択し、話し合いながら、新たな考えに気づいたり、答えを出したりする力）
③	科学的に思考・吟味し、活用する力 （*データや実験などの結果を整理したり、分析したりする力）
④	新たな価値を見つけ出す感性や創造力、探究力 （*自然体験や本物にふれる体験など多様な経験を通して、興味を深め広げたり、新しい発想や面白い発想を生み出したりする力）

*超スマート社会（Society5.0）～人工知能等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられ、生活が劇的に変化していく社会のこと

2 基本となる教育方法

じちようじこうきようどうしゆうじゆく

「自調自考協働習熟」*自分で調べ・考え・仲間と学びあい・考えを深め広げて・確かめる。

子どもの成長や学びを支えるスクールワイドPBS・しんとみスタイル・4つの実感の実践	
スクールワイドPBS	しんとみスタイル
4つの 実感	①自分で決めたという実感（自発性） ②自分でできたという実感（有能感） ③自分は認められているという実感（関係性） ④自分には居場所があるという実感（帰属意識）

*スクールワイドPBS(Positive Behavior Support)～目標とする望ましい行動を子どもたちや職員で共有し、学校全体で取り組む行動支援の方法

*しんとみスタイルの授業実践～1授業マネジメント、2協働的な学びの質と量、3ICTの効果的な活用の視点から1単位時間の授業を構想し、「個別最適な学び」、「協働的な学び」、「習熟の時間」を取り入れた授業スタイル

3 大切にする5つの教育実践キーワード

5つの教育実践キーワード	
①	夢や希望をもち、自ら計画して取り組む教育
②	<u>自分の学びや生活を自分で創る、自分の学級や学校を自分たちで創る教育</u>
③	社会の変化を自分事として捉える教育
④	<u>気持ちや考えを表現する教育</u>
⑤	学校と社会、教科書と現実をつなぐ教育

4 重点取組事項

【学校教育分野】

【生涯学習分野】

1	確かな学力の向上	1	読書推進による人づくり・町づくり
2	小中一貫教育の推進	2	町民の生きがいつくりの推進
3	特別支援教育・生徒指導の充実	3	豊かな心を育む青少年の育成
4	学校安全の徹底	4	文化財の保護活用と文化活動の推進
5	「読書の町しんとみ」の推進	5	生涯スポーツの推進

5 取組内容

「^{じちようじこうきようどうしゆうじゆく}自調自考協働習熟」*自分で調べ・考え・仲間と学びあい・考えを深め広げて・確かめる。

令和7年度 大事にする言葉（キーワード）

「あなたは どう思う？ あなたの考えをきかせて」

(1) 確かな学力の向上

○ 学力向上推進体制の充実

- ・ しんとみスタイルの授業実践（自調自考協働習熟）
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの推進
- ・ 各種調査結果の活用（NRT、CRT、全国学力調査／小6・中3、みやぎき学力調査／小4・中1）
- ・ 英語力の向上（デジタル教科書、英検、ALT等の活用）
- ・ 家庭学習の充実

○ ICT活用の充実

- ・ タブレットを活用した授業の充実
- ・ AI型ドリルの活用（授業のまとめ、習熟、家庭学習／予習・復習・定着）

※各小中学校が連携協働して学び・活動する新富小中学校の推進

- ・ オンライン授業による学びの広がりと深化（学校間、町内、町外、外国等）
- ・ 児童生徒会交流活動「協議：国スポ・障スポに向けて自分たちができること」
- ・ 教科学習等の協働学習（含オンライン）
- ・ 県内、県外、外国（台湾他）とのオンライン交流・学習
- ・ デジタル教科書の活用
- ・ 県ICT教育エリアミーティングへの参加

○ 教員の授業力・指導力向上の支援

- ・ 学校支援訪問による授業改善
- ・ 「しんとみ学力・授業力向上推進リーダー研究会」による学習指導の工夫改善と成果の普及

※R7年度テーマ

「一人一人の確かな学びをつくるしんとみスタイルの授業実践」

(2) 小中一貫教育の推進

○ 小中一貫教育推進体制の充実

- ・ 富田小学校と富田中学校、新田学園、上新田学園
- ・ 異学年活動（授業、清掃、部活動等）

○ コミュニティスクールの運用

- ・ 学校運営協議会と地域学校協働本部（生涯学習課）の連携
- ・ 県連携推進アドバイザーの活用

○ 小中一貫教育に関する重点取組事項の徹底

※「あいさつ」、「読書活動の推進」、「家庭学習」

○ 「考え、議論する道徳」授業の充実

○ グローバル教育／ふるさと教育の推進

- ・ 地域の特色や行事、人材、課題等を題材にした体験型・課題解決型授業の充実
国指定史跡（新田原古墳群）、国指定天然記念物（湯ノ宮座論梅）
県指定天然記念物（アカウミガメとその産卵地）、
※県指定無形民俗文化財（新田神楽）三納代神楽、八幡神楽、日置神楽
町指定天然記念物（春日の大イチョウ）
町指定無形民俗文化財（元禄坊主踊り、湯之宮棒踊り）
- ・ 新富町副読本「わたしたちの新富町」の活用

* グローカル教育

- ・世界の様々な文化や社会問題に触れつつ、自分たちの住む地域の歴史や伝統、現実の課題を理解することで広い視野と地域理解を深める。
- ・グローバルな視野を持ちながら地域社会と密接にかかわり、自分たちの住む地域の良さや課題について理解し、さらに、課題解決の方法を考えたり、実践したりする人材を育てる。

○ 環境教育の推進

- ・SDGsを取り入れた持続可能な開発のための教育（ESD）の充実
- ・4R活動（Refuse/リフューズ、Reduce/リデュース、Reuse/リユース、Recycle/リサイクル）の推進
- ・役場都市建設課等の活用

○ 健康教育の推進

- ・食育の充実
- ・ゲーム依存症、がん、メンタルヘルス等の理解
- ・役場いきいき健康課等の活用

○ 幼保小中連携・接続推進に係る取組の充実

- ・バトンカリキュラム、キャリアプログラム等の充実
- ・県幼児教育センター（幼児教育スーパーバイザー等）等活用

○ PTA家庭教育学級の充実

- ・みやぎき家庭教育サポートプログラム等の活用

(3) 特別支援教育・生徒指導の充実

○ 児童生徒の自己肯定感の育成

- ・個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成と実践
- ・個に応じた合理的配慮の充実
- ・通級指導教室の活用

○ いじめや不登校、生徒指導上の諸問題の未然防止と早期発見・対応

- ・校内情報共有、支援会議、関係機関との連携の充実
- ・スクールワイドPBSによる組織的アプローチの実践と充実
- ・児童生徒の心理構造『心のピラミッド』、『生徒指導提要からみる新富町の不登校支援の在り方』の理解と活用
※自分たちの学級・学校は自分たちでつくるという意識の醸成と対応
※不登校傾向の児童生徒には、自分で自分の居場所を決め、自分で自分の時間割を作ること
を認め、寄り添うことから始める。
- ・いのちを大切に教育、SOSの出し方等に関する教育の推進
- ・SC（スクールカウンセラー）、SSW（スクールソーシャルワーカー）の活用
- ・適応指導教室（けやき教室）との連携

○ デジタルシティズンシップ教育の推進

- ・「GIGAワークブックみやぎき」の活用
- ・個人情報保護、人権侵害、著作権等に対する対応、危険回避やネットワーク上のルール、マナー等
*デジタルシティズンシップ教育～デジタル社会での情報モラルをはじめ、健全な振る舞いや責任ある行動、人権感覚を身につけ、デジタル社会での善き市民となることを目的とした教育

○ 校則の見直し（生徒と共に協議）の継続

○ 多様性（多文化、LGBTQ等）の理解と受容

○ 「しんとみ学び塾」への参加（生徒会役員／悉皆、希望者）

○ 小学生サマーキャンプへの参加（全学年対象）

○ 海外派遣事業（台湾交流／中2）

（4）学校安全の徹底

- 常在危機意識に基づく危機管理体制や訓練等の充実
 - ・ 交通安全、災害、不審者対応、熱中症、新たな危機事象（Jアラート）等への対応マニュアルの作成
 - ・ 訓練の工夫改善（タイムライン作成等）
 - ・ 応急避難所計画の作成（＊町部局と連携して作成）
 - ・ 役場総務課防災担当等の活用
- 施設の老朽化対策（長寿命化）、安全対策等の推進

（5）「読書の町しんとみ」の推進／読書推進による人づくり・町づくり

- 学校図書館、町図書館等の読書推進と読書環境の充実
 - ・ 図書支援員等の活用
- 学校図書館、町図書館等の読書活動やファミリー読書の推進
- 町図書館との連携（本や資料の貸し出し、情報提供等）

（6）町民の生きがいづくりの推進

- 学習機会と交流の場の提供
- 学習成果発表の機会の提供

（7）豊かな心を育てる青少年の育成

- 子どもの体験活動の充実と支援

（8）文化財の保護と活用

- 新富町の自然、芸能、行事、文化財の授業への活用
- 指定文化財の整備と活用

（9）生涯スポーツの推進

- スポーツに親しむ機会の提供（スポーツクラブ、スポーツ少年団等）
- スポーツ通じた交流人口の拡大
- 休日の部活動の地域移行
- 国民スポーツ大会・全国障がい者スポーツ大会の準備と開催

○ 中学校部活動の地域展開の模索

- ・ 土日の地域連携・移行（部活動指導員、合同部活動、拠点校方式、スポーツ少年団との連携、クラブ化、クラブチーム新設等）